

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.588

2022年9月9日

東海旅客鉄道労働組合

<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

「基本協約」改訂 第8回団体交渉

コロナ禍の中、多くの成果を確認し妥結！

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

9月9日、JR東海ユニオンは「基本協約」改訂に向けた第8回団体交渉を行い、以下の回答を受け、妥結に至った。

長引くコロナ禍の影響で、JR東海グループは引き続き苦しい経営状況に置かれているが、ユニオン組合員は懸命な努力で輸送量を確保し続けてきた。その負託に応えるべく、大変厳しい交渉ではあったが、会社に対して組合員・職場が抱える切実な課題や実態を強く主張し続けてきた。

粘り強い交渉を展開した結果、「将来にわたる会社の発展と組合員・家族の幸せ実現」に向けた多くの前進が図られた。

【回答内容】

○協約等の改訂に関する事項

- ・ 出生休暇の新設及び結婚休暇の付与日数等の変更
- ・ 配偶者帯同休職の新設
- ・ 育児等に関する取扱いの変更

子の育児をするため、出産1回につき1日の有給休暇を新設

結婚休暇の付与日数、取得期間を見直し(5日間、3年以内)

配偶者の海外転勤へ帯同する際の休職(3年以内)を新設

3歳までの育児休職の2回分割、出生時育児休暇の新設

○制度等の改正に関する事項

- ・ 帰省交通費の特例措置拡充
- ・ 非常呼出手当の支給対象拡大
- ・ 新幹線指定席利用の拡大(試行)
- ・ 在宅勤務制度の変更
- ・ フレックスタイム制の変更
- ・ 一般住宅補給金の支給額見直し

飯田、大鹿、山梨地区等の帰省交通費の支給額拡充(飯田・名古屋間の高速バス利用も対象に)

効率的な業務運営等を目的として、出張時における東海道新幹線利用時の一般社員の普通車指定席利用を試行

育児(小6まで)・介護における在宅勤務を、フレックスタイムが適用される鉄事・支社の非現業に拡大

山梨実験センター(基地除く)とり開本小牧駐在に拡大

月例支給を家賃の半額(上限45,000円)に見直し転勤等に伴う一時金を180,000円に拡充

交渉を力強く支えていただいた全ての組合員に感謝申し上げます！

※回答内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。